

[日興コード] 4571 [基準価額] 7,655円
 [純資産総額] 13.91億円 [信託期間] 無期限
 [決算日] 毎年3月, 6月, 9月, 12月の各18日
 [設定日] 1999年2月19日

- 【ファンドの特色】
- * 欧州を中心とした世界各国の公社債を主要な投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
 - * 投資対象銘柄の信用格付は、原則として BBB / Baa格以上とします (純資産総額の10%を上限に、BB / Ba格の公社債へ投資を行うことができます)。
 - * 外貨建て資産については、原則為替ヘッジを行います。
 - * 長期的観点に基づくバリュエーション (債券価値) 志向の投資を行うことを基本とし、複数の投資戦略に分散することで、中長期に超過収益の獲得を目指します。

< 分配金込み基準価額のパフォーマンス >

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
騰落率	-1.17%	-1.61%	-2.18%	-5.32%	8.96%	-8.57%
ベンチマーク	-0.13%	2.76%	3.27%	0.38%	12.17%	22.20%

- * ベンチマークは、シティグループEMU国債インデックス (3~5年) 円ヘッジベース
- * 分配金込み基準価額は、課税前分配金を再投資 (複利運用) したと仮定して、委託会社が算出したものです。

< ポートフォリオの概況 >

加重平均クーポン	4.42%	ポートフォリオのデュレーション	4.35年
加重平均最終利回り	4.03%	ベンチマークのデュレーション	3.60年

< ポートフォリオの資産概況 >

現物債券	94.46%	債券先物等 (買)	2.45年
キャッシュ	5.54%	債券先物等 (売)	-3.37年

* 債券先物等についてはデュレーションの寄与度を示しています。

< 先物の建玉の内訳 >

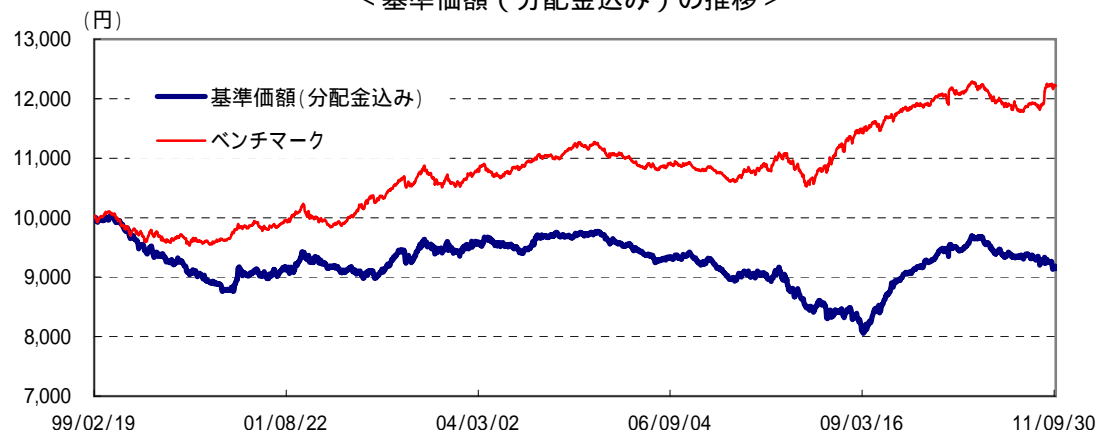
米国国債	-2.92年		
英国国債	-0.34年		
ドイツ国債	2.33年		

< 格付け別投資比率 >

AAA	38.84%	BBB	3.59%
AA	37.58%	BB	0.69%
A	19.30%		

* 格付け別投資比率は現物債券を100%として算出。

< 基準価額 (分配金込み) の推移 >



- * 上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- * 基準価額は信託報酬控除後 (純資産総額に対し、年率1.365% (税抜き1.30%)) です。

< 分配金実績 >

	2008/12/18	2009/3/18	2009/6/18	2009/9/18	2009/12/18	2010/3/18
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
設定来合計	2010/6/18	2010/9/21	2010/12/20	2011/3/18	2011/6/20	2011/9/20
1,500円	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- * 一万口当りの分配金額 (税引前)。
- * 運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (以下「当社」) が作成した資料です。当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。投資信託は値動きのある証券 (外国証券には為替リスクもあります) に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。投資信託説明書 (交付目論見書) は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

< 組入れ上位10銘柄 > 銘柄総数 : 74

	銘柄	クーポン%	償還日	分類	通貨	格付	利回り%	構成比%
1	フランス国債	3.000	2015/10/25	国債	ユーロ	AAA	1.58	8.42
2	イタリア国債	3.750	2016/4/15	国債	ユーロ	AA-	4.97	8.26
3	イタリア国債	4.500	2020/2/1	国債	ユーロ	AA-	5.50	6.89
4	ポーランド国債	5.750	2022/9/23	国債	ポランドズロ	A	5.82	4.93
5	オランダ国債	4.250	2013/7/15	国債	ユーロ	AAA	0.81	4.76
6	英国国債	5.000	2012/3/7	国債	英ポンド	AAA	0.52	4.70
7	ベルギー国債	3.750	2015/9/28	国債	ユーロ	AA+	2.69	4.40
8	スペイン国債	5.500	2021/4/30	国債	ユーロ	AA+	5.11	4.05
9	イタリア国債	4.250	2013/8/1	国債	ユーロ	AA-	4.24	3.80
10	FNMA 30YR OCT FWD	5.500	2041/10/1	政府系機関固定金利MBS	米回国債	AAA	2.31	3.00

< 通貨別内訳 >

	デレション (年)	為替 (%)
米ドル	-1.11	10.21%
カナダドル	0.00	3.76%
ポランドズロ	0.41	3.08%
スイスフラン	0.00	0.97%
メキシコペソ	0.03	0.44%
豪ドル	0.04	0.03%
ルウェーロン	0.00	-0.07%
デンマーククローネ	0.00	-0.15%
英ポンド	-0.14	-1.30%
日本円	0.00	95.00%
ユーロ	5.13	-11.97%

* 為替(%)は、基本ポートフォリオ(円)に
通貨戦略を反映させたポジション

< 運用担当者のコメント >

・米国债市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。上旬は、雇用統計が悪化し、景気の減速懸念が拡大したことから、利回りは低下し、米10年債利回りは2%を割り込みました。中旬は、日米欧の主要中央銀行5行が金融市場へのドル供給策を発表し、欧州の金融不安が和らいだため、利回りは上昇しました。下旬は、国際通貨基金（IMF）による世界経済見通しの下方修正などを受け、利回りは急低下しました。しかし、月末にかけては20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議において金融市場の混乱に対する協調姿勢が示されたことなどから、利回りは上昇に転じました。

・欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。上旬は、米雇用統計が予想を下回り、米国および世界景気の後退懸念が広がったことから、利回りは大きく低下しました。中旬は、日米欧の主要中央銀行がドル資金調達で協調する姿勢を示し、欧州金融不安への懸念が和らいだことから、利回りはやや上昇しました。下旬は、国際通貨基金（IMF）による世界経済見通しの下方修正や、米連邦準備制度理事会（FRB）による米景気下振れりリスク発言などを受け、利回りは低下しました。ただし、月末にかけては、欧州債務問題に対する取り組み進展への期待から株式相場が上昇し、利回りは上昇しました。

・日本債券市場は、利回りは前月末比はほぼ変わらずとなりました。上旬は、世界的な景気減速懸念を背景に利回りは低下しました。中旬は、米連邦公開市場委員会（FOMC）の開催を控えて様子見姿勢が強まり、利回りはほぼ横ばいで推移しました。下旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）による米景気下振れりリスク発言を受け、利回りに一時低下圧力が加わりました。しかし、月末には欧州の債務問題に対する取り組み進展への期待が強まり、利回りは上昇に転じました。

・為替市場では、米ドル・円相場は若干の米ドル安・円高となりました。スイスフランの対ユーロ上限目標設定を受けて米ドルを選好する動きが強まり、対円でも米ドルが一時上昇しました。しかし、その後はFRBの米景気下振れりリスク発言などを受けて米ドル売り・円買いが優勢となりました。ユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。ユーロ圏景気の下振れりリスクが意識されたことや、ギリシャの債務不履行（デフォルト）観測が広がったことなどを受け、ユーロは対円で下落基調となりました。

・9月の当ファンドのパフォーマンスは、マイナス1.17%、基準価額は前月末比で91円（分配金込み）下落しました。当月も安定した利金収入を獲得したものの、公社債損益がマイナスとなったことなどが、基準価格のマイナス要因となりました。

当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

当ファンドについてのご注意事項

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

為替変動リスク(円高になると、基準価額が下がるリスク)

一般的に外国為替相場が円高となった場合には、当ファンドが保有する外貨建資産に為替差損(円換算した評価額が減少すること)が発生することにより、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

金利変動リスク(金利が上がると、基準価額が下がるリスク)

一般的に債券の価格は、金利が上昇した場合には下落し、金利が低下した場合には上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク(信用・格付が下がると、基準価額が下がるリスク)

一般的に公社債、コマーシャル・ペーパーおよび短期金融商品のデフォルト(元金支払いの不履行または遅延)、発行会社の倒産や財務状況の悪化およびこれらに関する外部評価の変化等があった場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

デリバティブ活用のリスク

当ファンドの運用においては、デリバティブ(金融派生商品)を活用することがあります。デリバティブの価格は、市場動向や環境変化によって変動します。そのため、デリバティブの価格変動が基準価額の変動に影響を与える可能性があります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

分配金について

分配原資が少額の場合には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。

その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお読みいただきますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

お申込みメモ

フ	ァ	ン	ド	名	LM・ユーロ・アルファ ポートフォリオB (為替ヘッジあり)		
購	入	単	位	位	新規にお申込みの場合 50万円以上1円単位 追加でお申込みの場合 1万円以上1円単位		
購	入	価	額	額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額		
換	金	単	位	位	一口単位		
換	金	価	額	額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額		
換	金	代	金	金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。		
申	込	締	切	時	間	原則として、午後3時までに受けたものを当日の申込受付分とします。	
購	入	・	換	金	の		
申	込	受	付	不	可	日	ロンドンの銀行の休業日の場合には、購入・換金申込は受けません。
ス	イ	ツ	チ	ン	グ		「ポートフォリオA」と「ポートフォリオB」の間で、無手数料でスイッチングができます。 申込単位は、1万円以上1円単位 (保有するファンドのすべてをもって行う場合は、1円以上1円単位) とします。
信	託	期	間	間	間		無期限 (平成11年2月19日設定)
信	託	算	日	日	日		3月、6月、9月、12月の各18日 (休業日の場合は翌営業日)
収	益	分	配	配	配		毎決算時に、配分方針に基づき分配を行います。 分配金は、自動けいぞく投資約款に基づき再投資されます。
課	税	関	係	係	係		課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除および益金不算入の適用はありません。 税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購	入	時	手	数	料	申込金額 (購入申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額) に販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 手数料率の上限は、1.05% (税抜1.00%) となっております。	
信	託	財	産	留	保	額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運	用	管	理	費	用	(信	託	報	酬)	純資産総額に対し年1.365% (税抜1.300%)
そ	の	他	の	費	用	・	手	数	料			組入価証券の売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託財産に関する租税、信託事務等に要する諸費用 (監査費用、印刷等費用、受益権の管理事務費用等。) 等を信託財産から支払います。 信託事務等に要する諸費用は毎日計上され毎決算時または償還時に、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額の合計額を上限として委託会社が算出する金額が、その他については原則として発生時に実費が、信託財産から支払われます。 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 (注) 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することが出来ません。

購 入 申 込 取 扱 場 所 取扱販売会社までお問合せください。

当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (以下「当社」) が作成した資料です。当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。投資信託は値動きのある証券 (外国証券には為替リスクもあります) に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。投資信託説明書 (交付目論見書) は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

委託会社、その他の関係法人の概況

委 託 会 社	レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (信託財産の運用指図等を行います。) 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号 加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会
投 資 顧 問 会 社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー (在 米国) ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド (在 英国) (委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、当ファンドの運用指図を行います。)
受 託 会 社	野村信託銀行株式会社 (信託財産の保管・管理業務等を行います。)
取 扱 販 売 会 社	S M B C日興証券株式会社 (募集の取扱い、一部解約実行の請求の受付、収益分配金の再投資、収益分配金・償還金・一部解約金の支払い等を行います。) 金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長(金商)第2251号 加入金融商品取引業協会: 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
取扱販売会社の照会先	レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 http://www.leggmason.co.jp (03)5219-5943

当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (以下「当社」) が作成した資料です。当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。